

学年	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12)
組	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
番号 10位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
番号 1位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
氏名	

I 生きて働く知識・技能

1	(1) (2) (3) <input checked="" type="radio"/> (5) (6)
2	(1) (2) (3) <input checked="" type="radio"/> (5) (6)
3	<input checked="" type="radio"/> (2) (3) (4) (5) (6)

4	(1) (2) (3) (4) <input checked="" type="radio"/> (6)
5	(1) (2) <input checked="" type="radio"/> (4) (5) (6)
6	(1) (2) (3) (4) <input checked="" type="radio"/> (6)

II 活用・評価する力 (選択式)

1	(1) (2) (3) (4) (5) <input checked="" type="radio"/>
---	--

2	(1) <input checked="" type="radio"/> (3) (4)
---	--

III- [1]

H 2 7 全国学調 小6 B 4 より出題 関連単元 4年「およその数の表し方を考えよう」

記述式問題 正答例

(12月に3000個集めればよいことがわかる「わけ」)

実際の数より少ない数にして和が7000だから、集めた個数の合計が7000個以上であることがわかります。

だから、実際に足りない個数は3000個以下です。

つまり、12月に3000個集めれば目標の10000個に達するからです。

採点基準 条件①②③又は条件①③④のうち、

- ① 条件を一つも満たしていないが無答ではない。
- ② 条件を1つ満たしている。
- ③ 条件を2つ満たしている。
- ④ 条件①②③④すべて満たしている。
または条件①②③を満たしている。
または条件①③④を満たしている。
(無答のときはマークしない)

正答の条件 条件①②③又は条件①③④を満たすものを正答とする。

条件① はるかさんは実際の数より少なく見積もっていることが書かれている。

例「はるかさんは、実際の数より少ない数にして計算しています。」

条件② はるかさんの見積もりの結果は7000個であることが書かれている。

例「およその数の計算は7000個です。」

条件③ 集めた個数の合計は見積もりの結果(7000個)以上であることが書かれている。

例「実際に集めた個数は7000個以上であることがわかります。」

条件④ 実際に足りない個数は12月に集める個数(3000個)以下であること、または、12月に集める個数(3000個)集めれば目標(10000個)に達することが書かれている。

例「実際に足りない個数は3000個以下なので、目標を達成できます。」

「12月に3000個集めれば目標の10000

H 2 7 全国学調解説資料 P.69~75

http://www.nier.go.jp/15chousa/pdf/15kaisetsu_shou_sansuu.pdf

学年	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12)
組	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
番号 10位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
番号 1位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
氏名	



I 生きて働く知識・技能

7	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
8	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
9	(1) (2) (3) (4) (5) (6)

10	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
11	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
12	(1) (2) (3) (4) (5) (6)

II 活用・評価する力 (選択式)

3	(1) (2) (3) (4)
---	-----------------

4	(1) (2) (3) (4)
---	-----------------

III- [2]

活用する力 (記述式)

H20 全学調 小6 B3より出題 関連単元「円の面積の求め方を考えよう」等

記述式問題 正答例

選んだ番号

2

(わけ)

長方形アと四角形イは、両方とも四角形だから、4つの角の大きさの和は、どちらも 360° になる。だから、4つの黒い部分を頂点であわせると、どちらも半径10cmの円ができる。このことから、4つの黒い部分をあわせた面積は、長方形アと四角形イで同じになる。

正答の条件 条件ABC又は条件ABDを満たしているものを正答とする

- 条件A 2を選んでいる。
- 条件B 長方形ア、四角形イなど説明の対象を示す言葉が書かれている。
- 条件C 内角の和が 360° であること、又は対角線で二つの三角形に分けられることが書かれている。
- 条件D 面積が半径10cmの円と同じになること、又は面積が三角形の場合の2倍になることが書かれている。

採点基準 条件ABC又は条件ABDのうち、

- ① 1つも満たしていないが無答ではない。
 - ② 1つ満たしている。
 - ③ 2つ満たしている。
 - ④ 3つすべて満たしている。
- (無答のときはマークしない)

学年	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12)
組	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)
番号 10位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
番号 1位	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)
氏名	



I 生きて働く知識・技能

1 3	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
1 4	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
1 5	(1) (2) (3) (4) (5) (6)

1 6	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
1 7	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
1 8	(1) (2) (3) (4) (5) (6)

II 活用・評価する力 (選択式)

5	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
---	-------------------------

6	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
---	-------------------------

III- [3]

H 2 5 全学調 小6 B 2より出題 関連単元 5年「比べ方を考えよう」等

記述式問題 正答例

(求め方)
 ふりこの長さが25cm から50cm と2倍に変わったとき、10往復する時間は10秒から14秒で2倍になっていないからです。

採点基準

- ① 条件を1つも満たしていないが無答ではない。
- ② 条件を1つ又は2つ満たしている。
- ③ 条件を3つ満たしている。
- ④ 条件4つすべてを満たしている。

正答の条件 条件①～④すべてを満たしているものを正答とする

- 条件① もとにするふりこの長さと比べられるふりこの長さが書かれている。
- 条件② もとにするふりこの長さと比べられるふりこの長さの関係を示す数と言葉が書かれている。
- 条件③ もとにする10往復する時間と比べられる10往復する時間が書かれている。
- 条件④ もとにする10往復する時間と比べられる10往復する時間の関係を示す数と言葉が書かれている。

